

土砂災害 ハザードマップ

山科区 安朱学区

このマップで、まず、自宅が土砂災害（特別）警戒区域に位置しているかを確認しましょう。そして、自宅周辺、避難経路などの危険な箇所を確認し、「早い段階での避難先」と「逃げ遅れたときの避難先」を考えておきましょう。



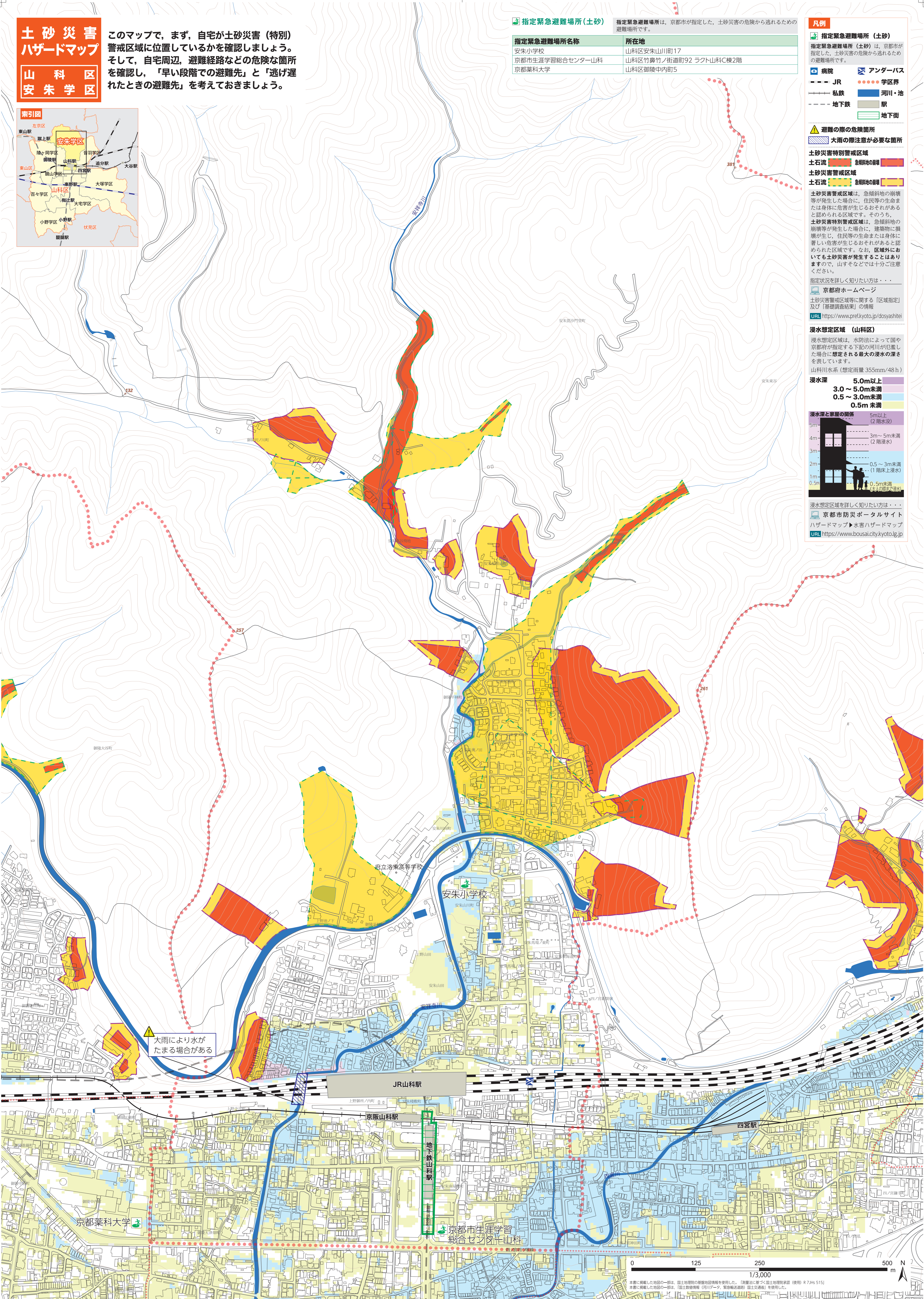
指定緊急避難場所(土砂)

指定緊急避難場所は、京都市が指定した、土砂災害の危険から逃れるための避難場所です。

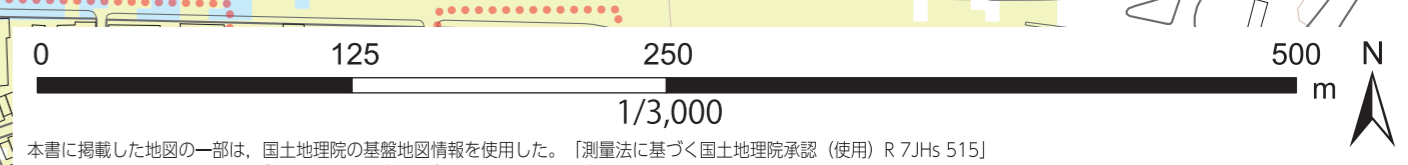
指定緊急避難場所名称	所在地
安朱小学校	山科区安朱山川町17
京都市生涯学習総合センター山科	山科区竹鼻竹ノ街道町92 ラフト山科C棟2階
京都薬科大学	山科区御陵中町5

凡例

- 指定緊急避難場所(土砂)は、京都市が指定した、土砂災害の危険から逃れるための避難場所です。
 - 病院
 - アンダーパス
 - JR
 - 私鉄
 - 地下鉄
 - 学区界
 - 河川・池
 - 駅
 - 地下街
 - 避難の際の危険箇所
 - 大雨の際の注意が必要な箇所
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
 - 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。そのうち、土砂災害特別警戒区域は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められた区域です。なお、区域外においても土砂災害が発生することはありますので、山すそなどは十分ご注意ください。
- 指定状況を詳しく知りたい方は・・・
- 京都市ホームページ
 - 土砂災害警戒区域等に関する「区域指定」及び「基礎調査結果」の情報
 - URL <https://www.pref.kyoto.jp/dosyashitei>
- 浸水想定区域 (山科区)**
- 浸水想定区域は、水防法によって国や京都市が指定する下記の河川が氾濫した場合に想定される最大の浸水の深さを表しています。
- 山科川水系(想定雨量 355mm/48h)
- 浸水深**
- 5.0m以上
 - 3.0～5.0m未満
 - 0.5～3.0m未満
 - 0.5m未満
- 浸水深と家屋の関係**
- 5m以上 (2階水没)
 - 3m～5m未満 (2階水没)
 - 0.5～3m未満 (1階床上浸水)
 - 0.5m未満 (1階床下浸水)
- 浸水想定区域を詳しく知りたい方は・・・
- 京都市防災ポータルサイト
 - ハザードマップ▶水害ハザードマップ
 - URL <https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp>



大雨により水がたまる場合がある



1/3,000
本圖に用いた地図の一部は、国土院の基礎地図情報を使用した。『測量法に基づき国土院が承認(使用) R7.H5.15』
 本圖に用いた地図の一部は、『国土院の基礎地図情報(河川データ、緊急輸送道路) 国土交通省』を使用した。